

国立大学法人島根大学役員会（第371回）＜議事要録＞

日時	令和3年10月18日（月） 14:00 ～ 15:35
場所	本部棟3階 特別会議室（TEAMS 利用）
出席者	服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，長澤理事，宮協理事， 上野理事
オブザーバー	千家監事，栗原監事
欠席者	なし
	〔陪席：企画部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長，医学部事務部長 自然科学系事務部長，監査室長〕

議題1 学則等の一部改正について

- 藤田理事から学則等の一部改正について説明があった。
- 千家監事から，今後法令等の改正があった場合に学内規則の改正漏れが無いよう，再発防止策を検討する必要があるのではないかと意見があった。総務課長から今年度中に規程管理システムの導入を予定しており，本システムの検索機能を活用することでチェック機能の強化を図るとの回答があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題2 科目等履修生規則等の一部改正について

- 藤田理事から科目等履修生規則等の一部改正について説明があり，審議の結果，原案どおり議決された。

議題3 島根電工グループ、TSKグループ及び株式会社オネスト並びに国立大学法人島根大学の連携協力に関する協定書の締結について

- 藤田理事から島根電工グループ、TSKグループ及び株式会社オネスト並びに国立大学法人島根大学の連携協力に関する協定書の締結について説明があった。
- 栗原監事から，本協定で示されている連携協力の取組内容について，自治体との関わりや連携についてはどのように考えているか確認があり，服部学長から，各自治体との連携については本協定とは別に締結している包括連携協定の枠組みで連携協力を進めていくものと考えているとの回答があった。
- 宮協理事から，企業側としては寄附金の使用目的が明記されている方が動きやすいとの意見があり，服部学長から今回は島根大学支援基金の中に新設する県内定着奨学金のカテゴリーへの寄附となるため，目的は明確化しているとの回答があった。
- 千家監事から，今後他の企業に連携を広げていく場合にはどのように協定を整理するのかとの質問があり，藤田理事から最初から整理し直すか又は個別に対応するかを含め，関係各社との意見調整の上で進めていくとの回答があった。千家監事から個別に対応する場合はそれぞれ単独で締結できる前提で協定の枠組を作っておく方が手続き上望ましいのではないかと意見があり，服部学長から，今後，他の企業から今回と同規模かつ複数年に渡る寄附の申出があった場合には新たな協定の枠組で進めるものと考えているとの発言があった。
- 以上の議論の結果，本件については原案どおり議決された。

協議事項1 定期モニタリングの実施について（個人情報漏洩の防止体制）

- 藤田理事から定期モニタリングの実施について（個人情報漏洩の防止体制）説明があった。

- 服部学長から、「3. 前回モニタリングにおける課題及びその改善状況」において、(1)及び(3)に個人情報保護法改正に伴う個人情報保護委員会事務局からの情報提供への対応について記載があるが、(1)で年内に規則改正案を作成することとしている一方、(3)のeラーニングについては既に見直しが実施されており、なぜタイムラグが発生しているのかとの質問があった。藤田理事から、eラーニングについては既に提供されている情報の中で見直しが可能であったが、規則改正については、今後詳細な情報提供がなされた後に改正を行うとの回答があった。
- 服部学長から、(2)の個人情報安全管理マニュアルについて改善状況が「未済」となっているが、「実際に発生したインシデント事例や再発防止策を含め、都度見直しを行っている」とあり、この点については課題に対応出来ていると理解できるのではないかとの意見があった。藤田理事から、インシデント事案があった都度、マニュアルで対応出来ているかを確認し、必要に応じて改訂を行っているが、今後も新たにインシデント事例が発生する度に見直しが必要となるという趣旨でまとめているとの回答があった。千家監事からこの度の法改正に伴う見直しについては個人情報保護委員会事務局からの詳細な情報提供を踏まえて検討する必要があるとの補足があった。
- 宮脇理事から、情報セキュリティや個人情報保護はマニュアルのみでヒューマンエラーをなくすことは困難であり、人に対する教育の徹底が重要であるとの意見があった。

報告事項1 安全保障輸出管理に係るリスト規制技術の保有状況調査について

- 大谷理事から安全保障輸出管理に係るリスト規制技術の保有状況調査について報告があった。
- 栗原監事から、機器等の中には法令等で廃棄方法等が規定されている場合もあると思うが、該当する機器等の更新に伴う廃棄の際にそのような点が漏れる恐れがないかとの質問があり、大谷理事から今後安全輸出管理アドバイザーの意見も伺い、廃棄の段階におけるチェックについてどのように判断すべきか確認するとの回答があった。

報告事項2 国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」への申請について

- 大谷理事から国立研究開発法人科学技術振興機構「次世代研究者挑戦的研究プログラム」への申請について報告があった。

報告事項3 令和2年度予算・決算について

- 長澤理事から令和2年度予算・決算について報告があった。

報告事項4 令和3年度前期資金運用報告について

- 長澤理事から令和3年度前期資金運用報告について報告があった。

報告事項5 附属病院運営状況について

- 椎名理事から附属病院運営状況について報告があった。

報告事項6 副学長の業務執行状況について

- 服部学長から令和3年4月～9月に係る副学長の業務執行状況について報告があった。

報告事項7 副学長の配置変更に伴う担当業務の追加について

○ 服部学長から副学長の配置変更に伴う担当業務の追加について報告があった。

第 370 回役員会（9 月 21 日開催）において、委員からの質問に対して確認するとしていた件について次のとおり報告があった。

- ・ 服部学長から、議題 4「令和 3 年度最低賃金改正に係る対応及び契約職員給与規程の改正について」での業務委託の場合の対応に関する質問について、この度の島根県の最低賃金改正に伴い、経理・調達課から業務委託契約を締結している業者等に対して、契約変更の必要性について照会を行い、希望がある場合には協議を行うこととしていたが、業者からの申出はなかったとの報告があった。
- ・ 椎名理事から、議題 5「職員任免規程の一部改正（救命救急士の一般職から医療職への配置転換）」での配置転換に伴う各種手当への影響の有無に関する質問について、配置転換によって新たに生じる手当等はないこと及びドクターカーの出動手当については他大学等においても支給していない状況に鑑み、本学においても同様の取扱いとするとの報告があった。
- ・ 宮脇理事から、DXについて、都会では親和性、有効性や経済性が高く、地方では費用対効果の面で難しさがあるが、地方にはアナログの良さもあるため、情報格差にいかに対応するかということについて学生と議論していくことで、アカデミーとしての存在意義に繋がるのではないかとの意見があった。
- ・ 上野理事から、安全保障輸出管理に係るリスト規制技術の保有状況調査について、コンプライアンスに関わる重要な案件であり確実に実施していく必要があるが、研究者の負担にも配慮した適切な方法により実施して欲しいとの意見があった。